

令和 6 年度 厚生労働省予算案における重点事項（ポイント）

（厚生労働省資料より抜粋）

I. 今後の人口動態・経済社会の変化を見据えた保健・医療・介護の構築

○認知症施策の総合的な推進 134億円（128億円）

- 共生社会の実現に向けた本人発信支援や地域づくり支援、認知症の人やその家族の相談支援体制と若年性認知症の人への支援体制の推進等
- 認知症に対する早期発見・早期診断及び治療・進行抑制、介護方法、社会的課題の実態調査など、認知症施策推進のための研究等の推進
- 認知症疾患医療センターにおけるアルツハイマー病の新規治療薬の適正な使用体制の整備の推進 等

- ・ 「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」の施行準備に向けた都道府県・市町村の取組支援
- ・ 共生に向けた認知症の早期発見・早期介入実証プロジェクトの推進
- ・ アルツハイマー病の疾患修飾薬等の社会実装に伴う効果的な診断・治療方法の確立と普及を目指す研究の実施

○がん対策、循環器病対策等の推進 406億円（406億円）

- 効果的・効率的な子宮頸がん検診の実施に向けた支援を含むがん対策の推進、HPVワクチンの相談支援体制の確保
- 脳卒中・心臓病等患者の包括的な支援体制の構築
- リウマチ・アレルギー疾患、慢性腎臓病（CKD）対策の推進 等

○肝炎対策の推進 1,232億円（1,231億円）

- 肝炎患者等の重症化予防の推進
- 肝がん・重度肝硬変の治療研究の促進
- 「特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等の支給に関する特別措置法」に基づく給付金等の支給 等

○難病・小児慢性特定疾病対策等の推進 1,642億円（1,631億円）

- 難病・小児慢性特定疾病対策の着実な推進
- 移植医療対策の推進

○歯科保健医療の推進 33億円（30億円）

- 健康寿命延伸に向けた生涯を通じた歯科健診等の歯科口腔保健の推進
- 地域の実情を踏まえた歯科医療提供体制の構築 等

○国際機関等を通じた国際貢献の推進・医療の国際展開 63億円（97億円）

- ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）の達成を目指した関係国際機関等への拠出による保健システムの強化等の支援、薬剤耐性（AMR）対策に関する研究開発等の推進
- 諸外国への人材派遣等による日本の医療技術等の国際展開の推進 等

○食の安全・安心の確保 29億円（27億円）

- 経済連携協定の推進による輸入食品増加に伴う監視体制の強化 等

感染症対策の推進・体制強化

新型コロナウイルス感染症の経験を踏まえた次なる感染症に備え、医療措置協定締結の推進、感染症の検査体制を強化するとともに、質の高い科学的知見を迅速に提供できる体制を整備する。

○次なる感染症に備えた体制強化 77億円（26億円）

- 保健所や地方衛生研究所等の体制整備
- 新興・再興感染症に係る臨床研究ネットワーク体制の構築 等

- ・ 次なる感染症に備えた個人防護具の備蓄や協定締結医療機関への支援の推進
- ・ 感染症対策の強化のための研究開発や医薬品備蓄等の実施

安定的で持続可能な医療保険制度の運営確保

○被用者保険への財政支援 1,253億円（831億円）

* 18歳未満までのこどもの医療費助成に係る国民健康保険の減額調整措置の廃止を令和6年度から実施